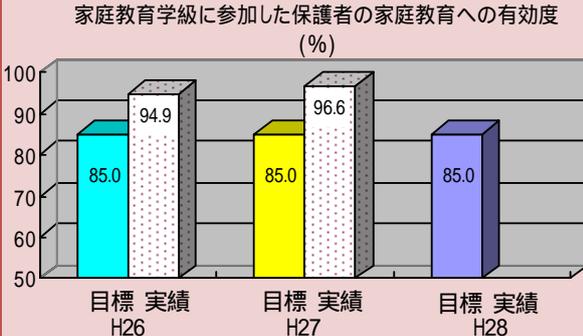


## 基本方針 5 教育の原点である家庭教育を支援します。

5 -

### 家庭教育学級交付金【社会教育課】

	<b>事業概要</b>
	教育の原点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小・中学校PTAなどが家庭教育学級を開設できるように支援します。
	<b>平成27年度実績</b>
市立全小・中学校PTA36校、私立初等学校保護者会1校、保育園1園、幼稚園保護者会16園、合計54団体へ家庭教育学級を開設するための交付金を交付し、事業計画などについて相談や助言などを実施しました。	

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">家庭教育学級に参加した保護者の家庭教育への有効度 (%)</p>  <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標 (%)</th> <th>実績 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>85.0</td> <td>94.9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>85.0</td> <td>96.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>85.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標 (%)	実績 (%)	H26	85.0	94.9	H27	85.0	96.6	H28	85.0	-	<p>学級開設に当たり、実施内容や講師について、手引きや資料集を作成するとともに適切な助言を行うことにより、より充実した事業実施が可能となりました。今後も、家庭教育の推進が図られるよう支援をしていきます。</p> <p>平成27年度から参加者共通のアンケートを実施しており、学習した内容が家庭で子育てに役立つかどうかなどの調査結果を基に、より効果的な家庭教育学級の開設を目指します。</p>
年度	目標 (%)	実績 (%)											
H26	85.0	94.9											
H27	85.0	96.6											
H28	85.0	-											

#### 委員からの意見

・PTA活動は、学校と家庭が両輪として教育活動を行っていく上で大切です。現在、PTA組織を維持することも難しい状況が見られています。魅力的な家庭教育学級は大きなウエイトを占めていて、開設に当たり、実施内容や講師などの手引きや資料集が作成され、より身近なPTA活動を推進するために充実した事業が推進されています。今後も、楽しいPTA活動の指針となるよう有効性を発揮してほしいと思います。

## 家庭教育情報提供事業【社会教育課】



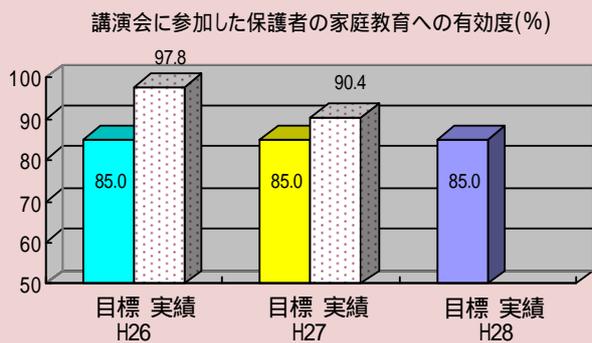
### 事業概要

家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の方々を対象に講演会などを開催し、必要な情報を提供します。

### 平成27年度実績

家庭教育情報提供講演会を全3回実施  
 「家庭で子どもに伝える大切なこと」  
 「心が伝わるハッピーコミュニケーション」～  
 子どもの言動に振り回されていませんか？～  
 「グローバル化の中で考える教育と子育て」  
 小中学校PTA対象(1・3回目)  
 幼稚園保護者会等対象(2回目)  
 参加者合計数 498人

### 成果指標



### 成果と課題・今後の取組等

それぞれの講演会の内容について、保護者会やPTAと調整を重ねることで、参加者のニーズに合った講演内容を実施することができたと考えますので、今後も、参加者が必要とする内容を実施できるように、幼稚園保護者会や小中学校PTAと要望・課題を調整しながら、事業を推進していきます。

### 委員からの意見

・この事業は家庭の教育力の低下を防ぐための砦であると思います。実績値は90.4%と高い値であり参加した保護者の方から事業の有効度が示されています。今後も事業継続を望みます。

ただし、実際の学校現場では、家庭教育学級を開催した際の参加者を集めることに苦労していることも事実です。以前、就学前の幼児や未就園の乳幼児を持つ親は参加したくてもできなかったことがあり、ボランティアで保育士をお願いし、隣の空き教室で乳幼児を見ていただくことで学級参加者希望者は100人を超え、2日間に分けて家庭教育学級を開催したという事例もあり、より多くの方に参加してもらえよう取組を望みます。

・近年の実績指標からも見られるように、講演会のテーマは、家庭にとって大変大切なテーマでした。今後も、喫緊の課題も含め、今日的な課題について情報を提供してほしいと思います。



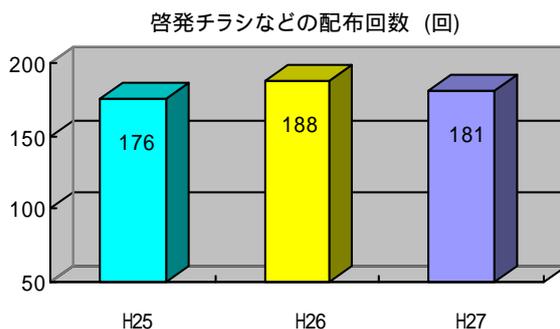
### 事業概要

成長期の子どもの健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを、積極的に啓発します。

### 平成27年度実績

啓発用チラシなど配布 181回  
 (各地区公民館まつり、各小学校就学前検診・就学時説明会、各小学校区地域子ども教室ほか)

### 過去3年の実績



### 成果と課題・今後の取組等

乳幼児や小学生などの保護者中心に啓発用チラシや物品などを配布し、効果的な啓発活動を展開しました。平成27年度も引き続き、小中学校で作成される「保健だより」や公民館だよりなどで「早寝早起き朝ごはん」推進にかかる記事の掲載依頼をし、更に広く保護者等へ啓発内容が浸透するよう工夫しました。

今後も、積極的に啓発対象や場所を拡大しながら推進していきます。

### 委員からの意見

・早寝早起き朝ごはんは、小・中学生にどうしても身に付けてほしい生涯健康のキーワードです。なぜなら、このキーワードは研究上・統計上「学力・人間関係・健康寿命」と直結しているからです。このことはあまり知られていないので、子どもたちにどのようにして定着させたらよいのか、更なる研究工夫を望みます。

・各学校や公民館で配布するたよりや啓発用チラシを積極的に配布し、講演や挨拶にもその大切さを取り込んだことで、着実に定着度が上がっていると思います。これからも、子どもの健やかな成長のために、早寝早起き朝ごはんの習慣化は市を挙げて取り組んでほしいです。

## 【基本方針5に対する点検・評価委員からの総括的意見】

本当に支援を必要としている家庭ほど支援が閉ざされているように感じています。教育委員会としてそうした家庭に入っていくことは大変難しいと思います。これまでは啓発が主体の事業推進だったように感じてますが、今後は支援が必要としている家庭に届けられるような実践的な取組を望みます。

家庭教育支援事業はこれからの大きな課題と認識しています。厚木市が全国の先頭を切るぐらいの気構えで、具体的な実践事業を展開していただきたいと考えます。

**基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。**

**6 - 青少年非行防止活動事業【青少年教育相談センター】**



**事業概要**

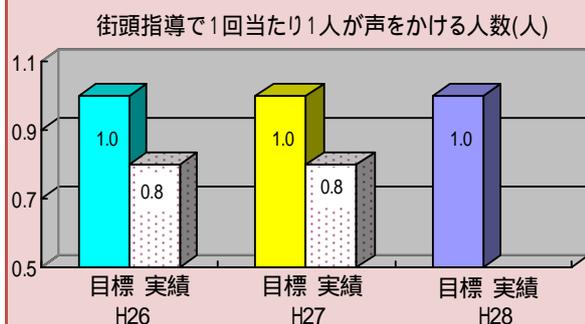
青少年の非行防止のため、青少年相談員や社会教育指導員などが繁華街などを巡回し、声かけ指導を行います。また「心と街のクリーン作戦」などの啓発活動を実施します。

**平成27年度実績**

青少年健全育成のための環境浄化活動や青少年相談員による青少年の薬物防止の呼び掛けを実施

- ・心と街のクリーン作戦参加者数 354人
- ・愛の一声みちびき運動参加者数 74人(15公民館)

**成果指標**



**成果と課題・今後の取組等**

「心と街のクリーン作戦」では、世代を越えた交流の中で有意義な活動を行うことができました。今後も、参加者への周知方法など課題の改善を図っていきます。

「愛の一声みちびき運動」では、各地区で啓発活動を展開し、地域の青少年の非行防止につながりました。今後も、啓発チラシなどの配布を工夫している地区の実践を情報交換するなどして、活動の更なる充実を目指していきます。

**委員からの意見**

- ・駅前が一番街はかつて危険で大人でも通ることができませんでした。今は、夜子どもたちだけでも通ることができます。これからも青少年の非行防止と環境浄化の観点からも継続事業を望みます。
- ・日々の非常にきめ細かな街頭指導活動は、問題行動の早期発見、未然防止に大きな成果を上げていると思います。街頭での声掛けは、日常の中で減ってきている地域の中での声掛けにも影響するところだと思います。今後も、声掛けのできる人づくり・環境づくりを推進していただきたいと願っています。

## 【基本方針 6 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

方針のテーマとして、主要事業が 1 事業では少ないと感じます。もっと具体的な実践事業を展開すべきであり、地域社会の教育力向上の面からも、地区公民館が要となった子ども育成関連団体と協働した事業を展開できるのではないかと考えます。

**基本方針 7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。**

**7 - 市民スポーツ活動推進事業【スポーツ政策課】**



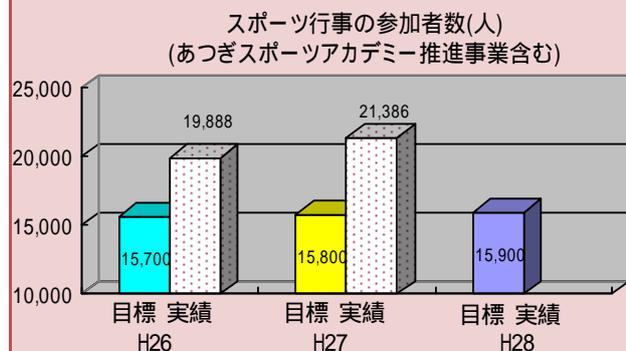
**事業概要**

多くの市民にスポーツに触れ合う機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYなどを開催します。

**平成27年度実績**

- ・スポーツなじみ DAY 参加者数 958 人
- ・女子ワールドカップカナダパブリックビューイング参加者数 480 人
- ・はつらつママさんバレーボール参加者数 2,261 人

**成果指標**



**成果と課題・今後の取組等**

パブリックビューイングや宝くじ社会貢献広報事業の活用など市民ニーズを捉えた事業を展開したことにより、スポーツ人口の増加と生涯スポーツの推進・発展に寄与しました。

今後も市民ニーズを的確に捉えた事業内容を検討するとともに、事業PRに様々な手段を講じ、市民に十分浸透する事業展開を構築していきます。

**委員からの意見**

・近年の健康志向や高齢者のスポーツ愛好家の増加により、市民がスポーツになじもうとする機会を数多く提供してもらうことは嬉しい限りです。参加者数は目標を大きく上回っており、新しい参加者獲得のための工夫をこれからも望みます。

7 - あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金【スポーツ政策課】



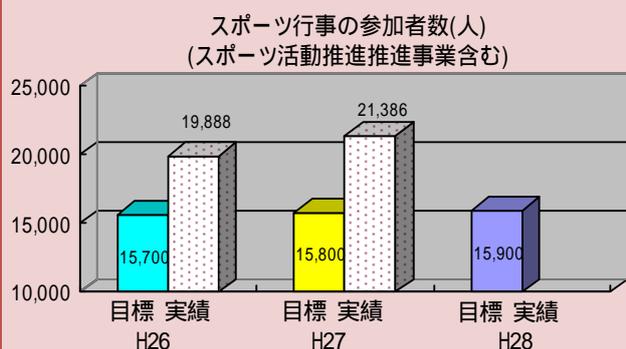
事業概要

(公財)厚木市体育協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に補助金を交付し、生涯スポーツの普及・推進及びジュニアの育成や指導者の養成などを行います。

平成27年度実績

競技別市民選手権大会(25種目)	7,339人
スポーツ大会(8大会)	5,657人
元気アップスポーツフェスティバル	156人
あつぎウォーク	510人
スポーツ教室	2,239人
指導者養成支援事業	594人
スポーツ人のつどい開催	466人
スポーツアカデミー	726人

成果指標



成果と課題・今後の取組等

今後も(公財)厚木市体育協会に対して補助金を交付するとともに、本市のスポーツ推進のため指導助言を行っていきます。

また、市民への意識調査を実施し体育協会と連携しながらトップアスリートの育成、指導者の養成及び市民スポーツ活動の推進を図っていきます。

委員からの意見

・昨今、熱心にトップレベルを目指してスポーツに取り組む児童・生徒が目立つ傍らスポーツをしない子どもも増えている気がします。今後も更に参加者が増えるように工夫していただき継続してほしいと思います。

・スポーツは、健全な心身育成のために必要なことは言うまでもありません。自身で行うスポーツも大切ですが、市民から優秀なスポーツ選手が生まれることは、地域が生んだ宝として、市の活性化にもつながっていきます。指導者やゲストの選考について更なる高みを希望します。

## スポーツ振興基金積立金【スポーツ政策課】



### 事業概要

スポーツの振興に役立てるため、皆様からの寄附金などを積み立てます。

### 平成27年度実績

寄附金 1件(2,547円)

平成26年度 なし

平成25年度 1件(20万円)

### 成果と課題・今後の取組等

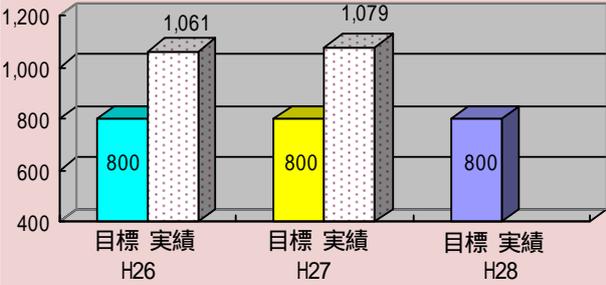
広く一般からの寄附金の受入れができるような体制の整備が必要であるとともに、各イベント会場に基金箱を設置し寄附者については市ホームページなどにおいて公開し、広く周知を図っていきます。

### 委員からの意見

- ・事業の趣旨を広く市民に啓発し協力を求めていくことが必要と考えます。その際、スポーツ振興の具体的なイメージを喚起できるようにしてほしいと思います。
- ・スポーツ振興のための寄附金は金額の多さより、何人の人が進んで意義を認めてくれるか、だと思います。公表はしていると思いますが、寄附金の使い道をより明確にするための工夫が必要だと思います。

## スポーツ推進委員養成事業【スポーツ政策課】

	<b>事業概要</b>
	<p>地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員養成のための研修会などを行います。</p>
	<b>平成27年度実績</b>
	<p>スポーツ推進委員会議等開催 21回(388人)          研究会・研修会 7回(226人)          市等主催事業協力 6事業(465人)</p>

<b>成果指標</b>	<b>成果と課題・今後の取組等</b>												
<p style="text-align: center;">行事など参加推進委員延べ人数(人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>800</td> <td>1,061</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>800</td> <td>1,079</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>800</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H26	800	1,061	H27	800	1,079	H28	800	-	<p>市民の方が気軽に親しむことのできるニュースポーツを中心に、各種目の専門的知識を養成するための研修会などを実施します。</p> <p>また、スポーツを通して地域のネットワークやコミュニケーションの中心的存在として活動をする必要があるため、スポーツという枠を超え、必要に応じて講義・講習を進めていきます。</p>
年度	目標	実績											
H26	800	1,061											
H27	800	1,079											
H28	800	-											

### 委員からの意見

・スポーツは、地域のネットワークやコミュニケーションを育てるために大きな力を持ちます。また、地域のリーダーを育てることに寄与します。成果指標も実績値が目標値を大きく超えていて、今後も充実した活動の実施を期待します。

## 競技団体選手強化事業交付金【スポーツ政策課】



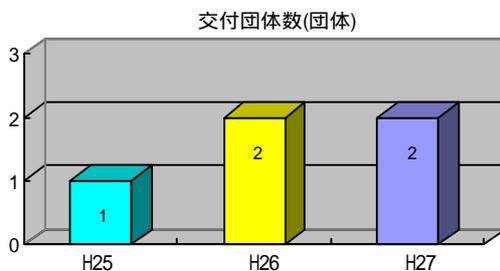
### 事業概要

競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会などに選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会などの事業に対し、交付金を交付します。

### 平成27年度実績

交付団体数 2団体  
(県大会2団体)

### 過去3年の実績



### 成果と課題・今後の取組等

各競技協会において、事業PRするとともに、選手強化がより効果的に行えるよう事業内容について検討していきます。

### 委員からの意見

・競技力向上を図るために行った強化合宿の内容や、強化練習会の様子などが紹介される方法を検討してもらうことを希望します。



## 事業概要

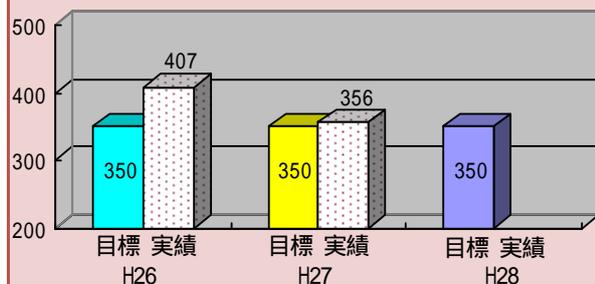
競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の方々に対し、奨励金を交付します。

## 平成27年度実績

国際大会出場奨励金 6件（6人）  
 全国大会出場奨励金 120件（350人）

## 成果指標

全国大会等出場者数(人)



## 成果と課題・今後の取組等

全国大会等出場奨励事業については、情報収集の能力を上げるとともに、制度の周知を十分行っています。

## 委員からの意見

・国際大会や全国大会に出場する市民に対して奨励金が交付されることで、意欲付けと負担軽減につながったと思います。このような制度により、選手も安心して競技に臨めると思います。多くの選手が出場していますので、遺漏のない手続きを望みます。

## 体育施設整備事業【スポーツ政策課】



### 事業概要

安心・安全な施設利用や機能性、快適性の向上のため、中津川スポーツ広場の拡張及び南毛利スポーツセンター体育館の照明設備などの改修を行います。

### 平成27年度実績

中津川スポーツ広場拡張整備測量委託、拡張工事実施設計委託及び工事を実施しました。

### 成果と課題・今後の取組等

スポーツ施設の利用環境向上のために、更なる整備を実施していきます。

### 委員からの意見

・市民がスポーツを安全かつ楽しく行うために、老朽化した施設・設備は順次改修してほしいと思います。また、子どもたちが不注意によるけがをしないように周辺の整備も併せて望みます。



## 事業概要

身近な所でスポーツ活動ができるよう、青少年広場及びその周辺を整備します。

## 平成27年度実績

上依知青少年広場などへの進入路新設工事を実施しました。

## 成果と課題・今後の取組等

スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、必要な整備を実施していきます。

## 委員からの意見

・市民がスポーツを安全かつ楽しく行うために、老朽化した施設・設備は順次改修してほしいと思います。また、子どもたちが不注意によるけがをしないように周辺の整備も併せて望みます。

	<b>事業概要</b>
	(仮称)飯山グラウンド用地取得事業に係る市債償還として、元金及び利子分を特別会計繰入金に繰り出します。
	<b>平成27年度実績</b>
	計画どおり起債償還を実施しました。

#### 成果と課題・今後の取組等

「厚木市スポーツ施設整備推進計画」の中で、飯山グラウンドなど今後検討を要するものについて、引き続き協議を行うとともに、計画的な施設の維持、整備を行っていきます。

#### 委員からの意見

・今後とも着実に事業を進めてほしいと思います。



## 事業概要

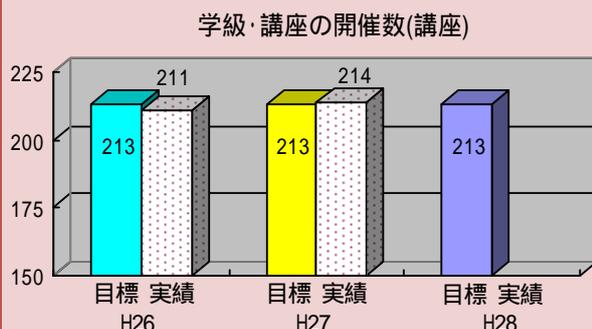
地域の特性をいかした各種事業を開催し、地域コミュニティの充実を図るとともに、学級講座を通して教養の向上などを図ります。

## 平成27年度実績

「世代の課題を捉えた講座」「現代的課題に関する講座」「家庭教育の充実に関する講座」「地域の学習課題を捉えた講座」という4つの柱を設け、地域性をいかした多彩な事業を市内15の公民館で実施しました。

全公民館参加者合計 14,323人

## 成果指標



## 成果と課題・今後の取組等

地域住民の教養の向上や健康増進、情操の純化、さらに生活文化の振興、社会福祉の増進などに寄与するために、それぞれの特性をいかした事業を計画し、それらの学習活動を通して生涯学習のまちづくりを推進できました。今後も、内容の見直しや講座数の増加を目指しながら、質の高い講座を実施していきます。

## 委員からの意見

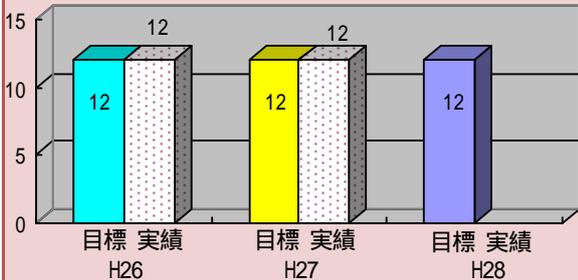
・厚木市は県内でもトップクラスの施設及び事業内容を誇っていると考えています。公民館職員は地区市民センターと兼務しながら地域のために尽力していただき感謝しています。社会教育法により教育委員会事務局への社会教育主事の配置は規定されていますが、公民館にも社会教育主事の配置を進めていただき、更に充実した社会教育事業を望みます。

・15地区16館の地区公民館は厚木市各地区の要となる施設であり機関です。合理化効率化が進んでいる現状で、市内各地区で独自に展開している公民館事業は全国的にも珍しくなり、全国に誇れる事業であると確信しています。なお、各地区公民館の職員に是非社会教育主事の資格を取得し、任命従事させてほしいと思います。その指導の下、市民サービスの事業に偏らず、地区住民が自ら活動できるような協働事業の展開を強く期待します。

・市内の15公民館がそれぞれ、4つの柱を受けた地域性・独立性のある講座を200回以上行っています。他の自治体では見られない講座回数多さ、質の高さを誇っていると思います。今後も、柱を見直ししながら、住民のニーズに応える講座を希望します。

## 市史編さん事業【文化財保護課】

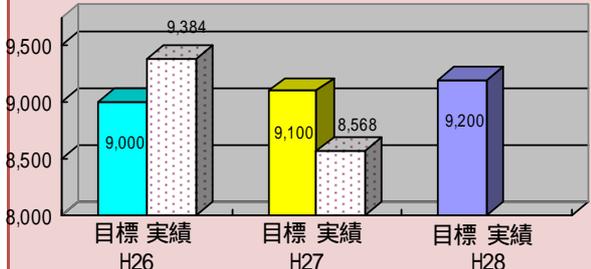
	<b>事業概要</b>
	<p>本市の歴史的変遷を後世に継承するため、歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い、「厚木市史」などを発刊します。</p>
	<b>平成27年度実績</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『厚木市史』民俗編(2)の編集</li> <li>・『厚木市史たより』13・14号の発行 A3二つ折、各1,500部</li> <li>・市史歴史講演会「揺れる大地、怒る富士—元禄大地震と宝永富士山噴火」の開催 (2/21、参加者250人)</li> <li>・市史歴史講座「市史資料から厚木の歴史を読み解く」の開催(8月25日 参加者46人)</li> </ul>

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">市史発刊数(冊)</p>  <table border="1"> <caption>市史発刊数(冊)のデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H26	12	12	H27	12	12	H28	12	12	<p>市史編さん事業では、『厚木市史』の本編12巻、『厚木市史資料叢書』1～11、『厚木市史たより』1～14号などを発刊しています。今後は、市史編集委員会委員等による執筆体制の充実を図り、着実に発刊を進めます。</p> <p>また、多くの方に事業を知っていただくため、歴史講演会や市史歴史講座の開催のほか、『厚木市史たより』の発行を継続して実施します。</p> <p>平成28年度は、13巻目の発刊となる『厚木市史』民俗編(2)を発行します。</p>
年度	目標	実績											
H26	12	12											
H27	12	12											
H28	12	12											

### 委員からの意見

・市史は、歴史的変遷を後世に伝えていく大変貴重な資料です。これまでに本編12巻を始め、膨大な資料がまとめられました。さらに、市史は編さんだけでなく、講演会や講座など多くの事業に活用されています。今後も、編さんを継続していただくとともに、活用にも期待しています。

	<b>事業概要</b>																				
	厚木市の誇るべき伝統芸能を後世に継承するため、児童・生徒を始め市民の方々が鑑賞できる機会を数多く設けます。また、後継者育成のため体験教室や郷土芸能学校を開設します。																				
	<b>平成27年度実績</b>																				
	<table border="0"> <tr> <td>郷土芸能公演鑑賞者数</td> <td>8,568人</td> </tr> <tr> <td>・郷土芸能まつり</td> <td>鑑賞者数 770人</td> </tr> <tr> <td>・郷土芸能普及公演</td> <td>鑑賞者数 3,396人</td> </tr> <tr> <td>・郷土芸能出前体験教室</td> <td>体験者数 215人</td> </tr> <tr> <td>・郷土芸能学校</td> <td>体験者数 92人</td> </tr> <tr> <td>・郷土芸能イベント等</td> <td>鑑賞者数 4,095人</td> </tr> <tr> <td>郷土芸能学校 開催回数</td> <td>40回</td> </tr> <tr> <td>・相模人形芝居(長谷座)</td> <td>開催回数 20回</td> </tr> <tr> <td>・義太夫三味線</td> <td>開催回数 20回</td> </tr> <tr> <td>郷土芸能出前体験教室</td> <td>開催回数 15回</td> </tr> </table>	郷土芸能公演鑑賞者数	8,568人	・郷土芸能まつり	鑑賞者数 770人	・郷土芸能普及公演	鑑賞者数 3,396人	・郷土芸能出前体験教室	体験者数 215人	・郷土芸能学校	体験者数 92人	・郷土芸能イベント等	鑑賞者数 4,095人	郷土芸能学校 開催回数	40回	・相模人形芝居(長谷座)	開催回数 20回	・義太夫三味線	開催回数 20回	郷土芸能出前体験教室	開催回数 15回
郷土芸能公演鑑賞者数	8,568人																				
・郷土芸能まつり	鑑賞者数 770人																				
・郷土芸能普及公演	鑑賞者数 3,396人																				
・郷土芸能出前体験教室	体験者数 215人																				
・郷土芸能学校	体験者数 92人																				
・郷土芸能イベント等	鑑賞者数 4,095人																				
郷土芸能学校 開催回数	40回																				
・相模人形芝居(長谷座)	開催回数 20回																				
・義太夫三味線	開催回数 20回																				
郷土芸能出前体験教室	開催回数 15回																				

<b>成果指標</b>	<b>成果と課題・今後の取組等</b>												
<p style="text-align: center;">公演鑑賞者数(人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>9,000</td> <td>9,384</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9,100</td> <td>8,568</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9,200</td> <td>9,200</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H26	9,000	9,384	H27	9,100	8,568	H28	9,200	9,200	<p>郷土芸能を普及・継承するため、児童・生徒を始め市民の方々が鑑賞する機会である郷土芸能普及公演を数多く設けることができ、平成26年度に比べて、平成27年度は3公演の増加となりました。平成28年度は現在の小・中学校や高等学校、大学、公民館に加えて、認可保育所にも募集をかけ、更なる普及・継承に努めます。</p> <p>また、平成27年度の第13回郷土芸能まつりには、厚木市制60周年を記念して、秋田県横手市から保呂羽山の霜月神楽保存会を特別招待し、大盛況のうちに終えることができました。</p> <p>しかし、平成26年度の郷土芸能公演鑑賞者数と比較して、鑑賞者数の減少が見受けられますので、上記の普及公演募集枠を広げるなどの事業拡大に努めるとともに、平成28年度は県下の団体が一堂に会する相模ささら踊り大会及び相模人形芝居大会の幹事市として郷土芸能の普及啓発に努めます。</p>
年度	目標	実績											
H26	9,000	9,384											
H27	9,100	8,568											
H28	9,200	9,200											

### 委員からの意見

・郷土芸能は、それぞれの地域で意義のあるものです。厚木市に新しく来られた方も含め、厚木市を故郷として想い、大切にするためにも、学校・公民館だけでなく、例えば、鮎まつり、中央公園のイベントなど様々な場面を活用し、普及を目指してほしいと思います。

	<b>事業概要</b>
	郷土文化の新たな活動拠点、文化財資料の収蔵などの機能を担う施設として、(仮称)収蔵資料館の建設を進めます。
	<b>平成27年度実績</b>
	(仮称)収蔵資料館の建設へ向け、基本方針(案)を策定し、建設基本設計委託、地盤調査を実施しました。(仮称)収蔵資料館検討委員会、庁内検討会とともに更なる検討を進めました。

(仮称)収蔵資料館建設事業は平成28年度から(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業に名称が変わります。

### 成果と課題・今後の取組等

(仮称)あつぎ郷土資料館建設事業(旧収蔵資料館建設事業)を、外部の有識者からなる(仮称)あつぎ郷土資料館検討委員会、庁内検討会とともに更なる検討を行い、建設実施設計、展示設計、旧校舎の解体などを進めていきます。

### 委員からの意見

- ・郷土に根ざした「厚木市の博物館」としての建築物に期待しています。児童・生徒について、年1回は利用してもらえるような内容を希望します。児童・生徒、学生、企業は博物館を拠点にすることにより人・物・道の交流の場ができるので、博物館の存在は、厚木市の宝物の誕生となり楽しみにしています。
- ・資料館建設の意義をより住民に周知していく必要があります。器だけでなく、中身を充実させるため、完成後の運用についてもより長いスパンでの見通しを持つために、検討委員会などの斬新なアイデアを望みます。

## 【基本方針 7 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

生涯スポーツの推進により、厚木市民の競技人口の増加にも役立っていると思います。児童・生徒及び広く市民の方々がスポーツに触れ体力づくりが図れるような取組について継続した支援を期待します。日本は世界最高の平均寿命国、世界最高の健康寿命国です。市民全員が自分に合った健康づくりができるような方法の更なる広報活動も期待します。2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、厚木市も選手の練習や受け入れに名乗りをあげたと聞いていますので、非常に期待しています。

## 基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

8 -

### 人権教育・啓発推進事業【社会教育課】



#### 事業概要

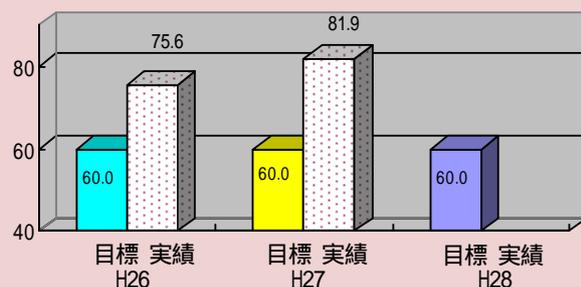
市民の方々に、人権に対する意識をより高めていただくため、ヒューマンカレッジ（人権講座）などを開催するとともに、人権について積極的に啓発します。

#### 平成27年度実績

ヒューマンカレッジ（人権講座）参加者数 192人  
 第1回「メディア・リテラシーってなんだろう？」  
 第2回「CAP（子どもへの暴力防止）プログラム」  
 第3回「あつぎヒューマンライツフェスタ」

#### 成果指標

人権講座参加者の人権意識高揚度(%)



#### 成果と課題・今後の取組等

第3回目をヒューマンライツフェスタと同時開催で実施し、中学生人権作文の優秀作品朗読や受賞者を交えたディスカッションなど、身近な人権に対する理解を深めることができた内容であったと考えます。

今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心がけた講座を実施していきます。

#### 委員からの意見

・人権教育に関しての事業について、目標値を大きく上回る実績値でしたが、普段の生活でよく見れば、まだまだ差別を感じる時があります。性同一性障害、エイズ、不登校、国籍、肌の色など今後も人権教育について、この事業の継続強化を望みます。

## 【基本方針 8 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図るために、人権講座をヒューマンライツフェスタと同時開催するなど工夫された啓発活動を通じて、人権問題に関する知識はかなり広く厚木市民に息づいていると思います。

は大人の姿を見ながら育ちます。知識だけではなく行動できる市民となるように、今後は大人に対しても活発な啓発活動を望みます。

